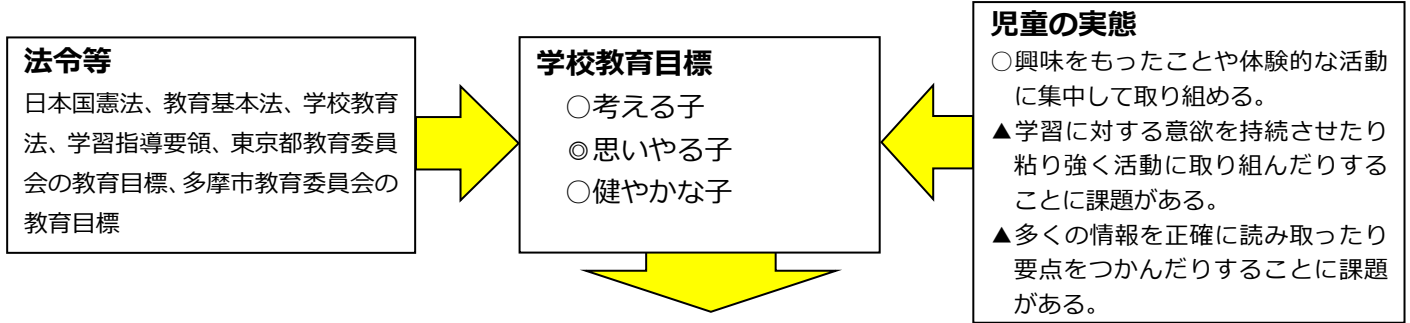


学力向上を図るための全体計画



学校経営方針【児童の学力向上を目指して】

確かな学力を付けるために

○基礎学力の定着

- ・ 毎日の反復学習の実施と東京ベーシック・ドリルの計画的活用
- ・ 算数少人数教師や学習支援員等を活用した少人数指導や TT 指導
- ・ 放課後学習教室やおはよう教室、夏休み学習教室の実施
- ・ 毎日の家庭での反復学習による学習習慣の確立

○思考力・判断力・表現力の育成

- ・ 体験で感受した内容などを表現する活動の重視
- ・ 主体的な問題解決学習の実施
- ・ 一人1台タブレット端末等の情報ツールを活用した ICT 教育の推進
- ・ 学校図書館の活用による豊かな知識と心の醸成

○学びに向かう姿勢

- ・ 児童の実態や興味・関心を考慮した学習形態と内容や教材の工夫
- ・ 授業のめあてを明確にし、学習後の振り返りを確実にを行うことにより、児童の達成感と意欲の向上につながる授業改善

本校の授業改善に向けた視点

| 教育課程編成上の工夫 | 評価活動の工夫 | 指導内容・指導方法の工夫 | 校内研究・研修の工夫 |
|--|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ○国・都の学力調査結果の分析から課題を把握し、単元計画を工夫する。 ○ICT機器を積極的に活用し、問題解決学習に取り組む。 ○ESD を生活科・総合的な学習の時間を通して推進する。 ○おはよう教室や放課後学習教室で、補足的な学習や繰り返し学習を実施する。 | <ul style="list-style-type: none"> ○適切な評価規準を設定する。 ○評価方法の共通理解を図り、指導・支援を工夫・改善する。 ○評価の方針・結果について教員間で共通理解を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ○基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図る指導を行う。 ○思考力・判断力・表現力等を高める指導の充実を図る。 ○算数少人数習熟度別指導の実施をする。 ○東京ベーシック・ドリルを活用した基礎・基本の確実な定着を図る。 ○タブレット端末を効果的に活用し、学習の理解を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ○校内研究などを通じて教員が互いに授業を見合い、学び合うことにより指導力の向上を図る。 ○教材研究・生活指導・外部との連携・特別支援教育の理解等について、OJT研修を実施する。(年5回以上) ○複数の資料から理解したことを整理し、考えをまとめる活動を行う。 ○ICT機器の活用についての研修を行う。 |